



国際ロータリー・テーマ

**ロータリーは機会の扉を開く**

(国際ロータリー会長 ボルガー・クナーク)

地区スローガン

**ロータリーの原点に戻る**

**誠意をもって語り合い、勇気をもって共に未来へ**

(第2650地区ガバナー 松原六郎)

彦根RC会長テーマ

**クラブの為に 故郷の為に みんなの為に**

(彦根ロータリークラブ会長 大館康伸)

認 証 1952年10月27日  
 例 会 毎週木曜日 12時30分~13時30分  
 例 会 場 彦根ビューホテル TEL 0749-26-1111  
 事 務 局 〒522-0063 彦根市中央町3-8 彦根商工会議所3階  
 TEL 0749-23-2101 FAX 0749-26-9272  
 E-mail : hikone-rc@topaz.ocn.ne.jp http://www.hikone-rc.org/

2020~2021年度	会 長	大館康伸	会長エレクト	青木竺峰
	副会長	石原成郎	幹 事	今村康博
	会 計	上田勝之	S A A	杉本克実

2021. 2. 25

会長 大館康伸



コロナウィルスの感染の広がりも国や自治体、民間の各業界の協力でようやく落ち着きを見せてきています。

しかし、油断をするとまた暴れだすやっかいで得体の知れない脅威の中、わたしたちは日々の暮らしを強いられています。

マスクをしないで人の笑顔を見れる普通の暮らしにもどれる一筋の光として、この日本においてもワクチン接種事業が2月17日(水)より医療従事者からはじまりました。2月12日(金)にファイザー社のワクチンがブリュッセル(ベルギー)から成田空港に空輸されるTVから流れる映像をわたしを含めた日本国民がどれほどの期待を持って見ていたかは想像に容易いものだと思います。

前回の週報にて、このコロナ禍の中「故郷の為に」何か事業ができないかという事をお知らせしました。

マスクやフェースシールド、防護服、消毒液は現在は巷にはあふれ、ホームセンターに行けば色々なメーカーのものが山積みされて安価に販売されている中、わたしの所属するXXXXクラブはマスクを1万枚寄贈させてもらった。AAAAクラブはフェースシールドを5000枚寄贈させてもらった。

そういった各団体、各クラブの衛生グッズの寄贈合戦に参戦するのも芸がないなど、何か違う視点で奉仕事業はできないかと思案していました。

## 知ってやりますか?こんなこと!! 彦根 辺りのお宝

妖怪シリーズ

大入道 (おおにゅうどう) 江國寺 彦根市本町2丁目3-24



寛永11年のお話。  
 大村新弥は、大坂冬の陣、夏の陣の軍功で、直孝より屋敷を賜った彦根藩士である。ところが、大村の出世を嫉む藩士が直孝に讒言(ざんげん)し、その言葉を信じた直孝は、大村に閉門を命じた。大村は悲憤のあまり屋敷に火をかけ妻と共に自刃。その後、讒言が偽りであったことを知った直孝は大村を赦免し、夫妻の菩提を

用うために大村新弥屋敷跡に江國寺の建立を命じたのである。大村夫妻の憤死後、月夜に屋敷跡を通ると大入道の影が前方を歩いたり、雨の夜には傘の上に誰かがのしかかって押さえつけたりする妖怪じみた話が城下に流布したという。

『近江・湖東ゴーストハンティング』(発行:びわこ湖東路観光協議会)より  
 イラスト 連藤久美子

### ★ポールハリス語録

「寛容という一般性の高い精神が、努力の末得られる唯一不変の成果である、と証明されるとしたら、それだけでもロータリーの存在意義があるでしょう。」

1月の終わりから紙と鉛筆を使い、企画案をあれこれ考え書いては丸めて捨て、書いては丸めて捨てという作業を繰り返していたところ、TVのニュースで川崎市で市民向けワクチン集団接種のシュミレーションをされている画像を何気なく見ていると、一つピンとひらめきました。「うん これだ」と。

4月からはじまるワクチンの接種事業を円滑に進めるお手伝いが市民側、行政側、医療従事者側の目線で何か出来ないか。それを考えひとつの企画案としてまとめました。



和田一繁会員に市長と面談が出来る手筈を整えていただき、2月10日(水)13:30~14:00に今村幹事、和田会員、大館で市長に「彦根市新型コロナワクチン接種」サポート事業を提案させていただきました。

事業内容としてはイーゼル、ホワイトボード、ラミネート加工しマグネットシールを貼布した標識を使った会場内のオペレーションの説明をしました。

### 期待できる効果として

- ① 導線を確保することにより円滑に接種オペレーションを行うことが出来る。
- ② 運営スタッフが会場の設営、撤収が容易にできる。
- ③ 標識の文字の色、大きさを変えることにより被接種者、医療従事者、運営スタッフがそれぞれの場所、業務を認識しやすくなる。
- ④ 接種事業終了後は公共施設、学校などで利用、不要な標識は廃棄。

提案後、市長は開口一番「すぐにでもくすのきセンターのスタッフと是非に話をしてほしい。いついけるか」と言われたので「このあとすぐに向かいましょうか」と答えたところスタッフの方が即、現場と時間調整をされ「15:30にくすのきセンターにてお願いします」と連絡をいただきました。

指定された時間にセンターに向かい、課長、課長補佐に対して事業内容を説明しました。くすのきセンター内に設置された彦根市新型コロナウイルスワクチン接種対策室は1月25日に設置されたばかりで、今後の対応に追われているようで事務所内はバタバタしている雰囲気でした。一通りの説明を終えたところ両者 開口一番「よろしくご助力願います」と。

事業提案から今後、具体的な作業に変わっていくことになる、優秀な助手が必要になります。事務局の藤井さんに「お願い、このプロジェクトははじめから関わって」と懇願しましたところ、快く「わかりました」とおっしゃっていただけだったので、2月15日(月)16:00に行政側で実働される方々と彦根RC(大館、藤井)打合せを行い、会場を設営するのに何がどれくらい必要になるのか、作業スケジュールを決めました。



エンドの期日が決められているので即日、鉛筆をなめて予算を考え、70万円程の企画提案書を作り、理事の皆様に承認をお願いしました。

翌日には理事の皆さんの快諾を得て、次の工程に進むことができました。今は会場設営に必要なもの選定、発注、デザイン考案をしているところです。

標識のほかに接種会場設営に必要なものとして 会場前の懸垂幕、立て看板も寄贈させていただきます。

4月から集団接種事業を行うには3月12日(金)に作業の完了を目標としています。寄贈式は3月16日(火)を予定しています。

実質1か月で作業を完結させることが必要になります。標識作成、ラミネート加工などマンパワーが必要になる時にはお手伝いをお願いをしたいと思いますので、空いた時間がありましたらご協力のよろしくお願いいたします。(3月の第1週の予定)

## 2021年ロータリー国際大会が

### バーチャルでの開催に

新型コロナウイルスによる脅威が続いていることを受け、2021年6月12～16日に台北(台湾)で開催予定だったロータリー国際大会を、バーチャル行事として開催することとなりました。

台北に集まることができないのは誠に残念ですが、出席者や関係者の皆さまの健康を守るために、国際ロータリー理事会が決定した必要な措置であることをご理解下さい。2021年バーチャル国際大会の詳細は、近日中に公開されます。(国際ロータリーHPより)

## 臨時理事会報告 (2021.2.16)

1. コロナワクチン集団接種会場標識等寄贈事業の件 承認

## 臨時理事会報告 (2021.2.18)

1. セネガルの子供たちへ「一隅を照らす」書籍寄付プロジェクトの件 承認

## 地区職業奉仕講演会報告

職業奉仕委員長 渡邊僖子

2月20日(土)午後1時より地区職業奉仕講演会がオンライン方式で開催され、当クラブ10名の出席登録をいただきました。

北河原パストガバナーによる開会点鐘、続いて松原ガバナー、北河原パストガバナーの挨拶のあと、ANAシステム(株)代表取締役社長の荒牧秀知氏による講演が「AIの業務適用事例紹介と今後のAIと人間との関わり」と題して行われました。



AI(人工知能)とは何か? 大量のデータをインプット、即座にデータ処理(ディープラーニング)し、最終目的に即したアウトプットデータが得られる。例えば、乱気流予測もリアルタイムで出力できたり、古文書のくずし字を自動で読み取って現代文字に翻刻したり、がんの発見、見のがし防止への活用など様々な活用できる。一方、本物そっくり「ディープフェイク」の被害が問題視され、AI倫理規制も対応が急がれています。今後の人間とAIの関わりはAIが得意な計算やデータ処理などAIに任せて、浮いた時間・労力を人間にしか生み出せない価値、こだわり、温かみの実現にまわすことが期待されます。あくまでもインプットするのは人間です。これからの若者達に「AIが当たり前の世界になる。AIを身近に興味持って取り組んでほしい」と結ばれました。

## 2月は平和と紛争予防／紛争解決月間

2014年10月RI理事会は、2月を重点分野:「平和と紛争予防／紛争解決月間」とした。紛争予防と仲裁に関する若者(将来にリーダーとなることが望まれる人)を対象とした研修の実施、紛争地域における平和構築の支援、平和と紛争予防／紛争解決に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間である。

### ロータリー創立記念日と世界理解と平和の日

1905年2月23日は、ロータリーの創始者ポール・ハリスが友人3人と最初に会合をもった日であり、この2月23日を祝う創立記念日は、「世界理解と平和の日」として順守されている。この日、各クラブは、国際理解友情、平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければならない。